

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/19 （6/12との比較）	6/19 （6/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	0.54% （+0.00）	78.54円 （▲0.59%）	-0.9% 2020年1Q	0.25%	発表されたCPI（消費者物価指数）および製造業売上高、小売売上高いずれも市場予想を下回る内容。原油価格は上昇したものの市場がリスクオフに傾く中、カナダドルは対円で下落。国債利回りは横ばい。	景況感指数などが発表予定。経済活動の再開と新型コロナウイルス感染第二波の状況から目が離せないものの、金融緩和による経済下支え効果が続く中、債券・為替市場は比較的狭いレンジ内で一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気鈍化	 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	5.26% （+0.13）	20.12円 （▲5.36%）	-0.3% 2020年1Q	2.25%	発表された小売売上高は市場予想を下回る内容。中銀は市場予想通り0.75%の利下げを実施。保健相に続いて教育相も解任され、ボルソナロ大統領への逆風が続く中、リアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	登録雇用創出合計などが発表予定。同国の新型コロナウイルスの感染者が累計で100万人を超え、再開された経済活動が再停止されることに懸念が高まる中、ブラジルリアルは引き続き値動きの激しい展開が続くと予想。
	Ba2	 金利低下	 金利低下	 景気鈍化	 利下げ局面		
メキシコ 	BBB+	5.06% （▲0.08）	4.72円 （▲2.20%）	-1.4% 2020年1Q	5.50%	発表された総需給額が市場予想を上回ったほか、登録雇用創出合計の減少幅が前月比で改善する結果。市場がリスクオフの方向に傾く中、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは低下。	小売売上高の発表を予定。また金融政策決定会合が予定されており、市場は0.50%の利下げを予想。中銀の声明に注目が集まる中、金利は短期的に下げ基調の展開となると予想。メキシコペソも短期的に弱含みを予想。
	Baa1	 金利低下	 金利低下	 景気鈍化	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/19 （6/12との比較）	6/19 （6/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAAu	<b>0.86%</b> （▲0.05）	<b>73.05円</b> （▲0.90%）	<b>+1.4%</b> 2020年1Q	<b>0.25%</b>	発表された住宅価格指数の伸びが市場予想を下回ったほか、失業率も市場予想に対し悪化する内容。政府がサイバー攻撃を受けていることを発表し、中国との対立懸念が高まる中、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	製造業PMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。経済活動再開の動きだけでなく、豪中両政府の外交姿勢に注目が集まる中、債券・為替市場ともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気鈍化	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	<b>0.89%</b> （+0.09）	<b>68.47円</b> （▲1.03%）	<b>-0.2%</b> 2020年1Q	<b>0.25%</b>	発表された食料品価格が前月比で下落。第1四半期のGDP（国内総生産）が市場予想を下回り、四半期として約10年ぶりのマイナス成長となる中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	消費者信頼感指数などが発表予定。また金融政策決定会合が予定されており、市場は政策金利据え置きを予想。総選挙まで3カ月を切り、経済政策などへの期待が高まる中、ニュージーランドドルは底堅い展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気鈍化	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	<b>0.68%</b> （+0.08）	<b>11.08円</b> （▲0.50%）	<b>+1.1%</b> 2020年1Q	<b>0.00%</b>	発表された貿易収支は前月比で悪化する内容。中銀は市場予想通りゼロ金利を維持したものの、経済見通しを上方修正し、ややタカ派スタンスを示す中、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	失業率や小売売上高などが発表予定。前週に中銀が、2022年に利上げする想定であることを発表したこともあり、ノルウェークローネは強含みの展開を予想。金利についても上昇基調を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気鈍化	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/19 （6/12との比較）	6/19 （6/12との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB	5.09% （▲0.08）	6.17円 （▲1.89%）	-0.5% 2019年4Q	3.75%	特に注目すべき経済指標の発表は無し。世界的に新型コロナウイルスの感染第二波への懸念からリスクオフ基調となる中、ランドは対円で下落。国債利回りは低下。	失業率や小売売上高、CPI（消費者物価指数）などが発表予定。新型コロナウイルスの感染拡大により国内経済指標にどのような影響を与えるか注目が集まる中、ランドは一進一退の展開を予想。
	Ba1	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB	6.68% （▲0.15）	0.76円 （▲0.21%）	+3.0% 2020年1Q	4.25%	発表された貿易収支は輸入の落ち込みにより前月比で改善する結果。中銀は市場予想通り、0.25%の利下げを実施。政府が8月からのバリでの観光業再開を発表する中、インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数などが発表予定。新型コロナウイルスの感染第二波への懸念が高まる中での観光業など経済活動の再開に注目が集まる中、債券・為替市場ともに一進一退の展開が続くと予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		
インド 	BBB-u	5.40% （▲0.02）	1.40円 （▲0.91%）	+3.1% 2020年1Q	4.00%	発表された貿易収支は、輸出の減少幅が緩やかになったことなどから前年比でマイナス幅を縮小する結果。国境付近での中国との衝突も報道される中、インドルピーは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	経常収支などが発表予定。新型コロナウイルスの感染第二波への懸念は高まるものの、徐々に経済活動が再開されるものの、徐々に経済活動が再開されるその動向に注目が集まる中、インドルピーは一進一退の展開が続くと予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気鈍化	 利下げ局面		

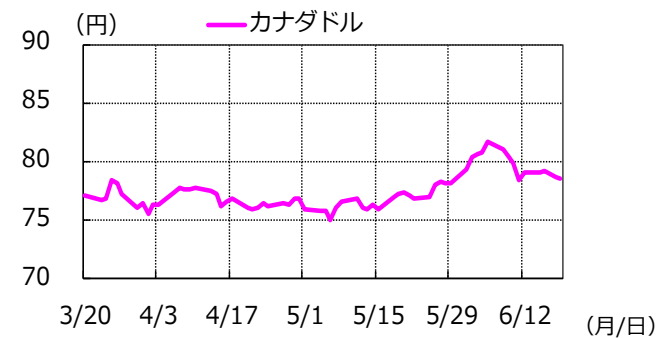
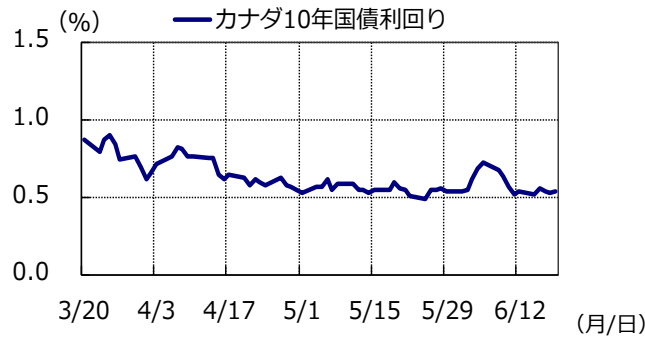
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

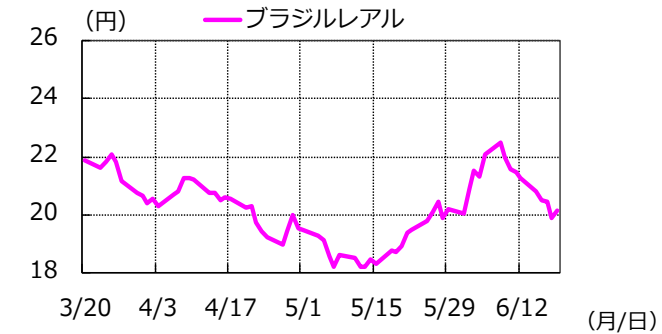
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2020/3/20~2020/6/19

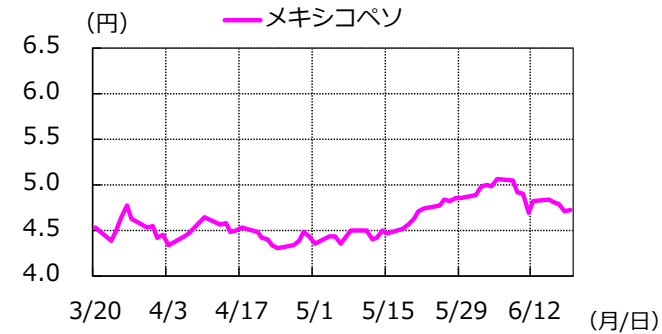
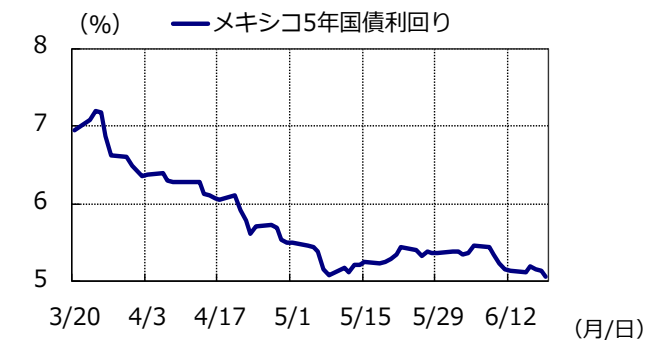
カナダ



ブラジル



メキシコ

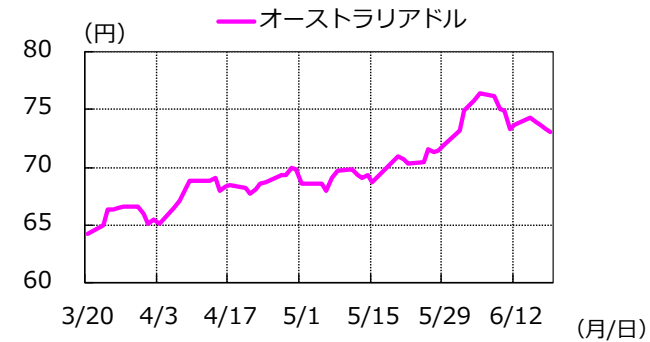
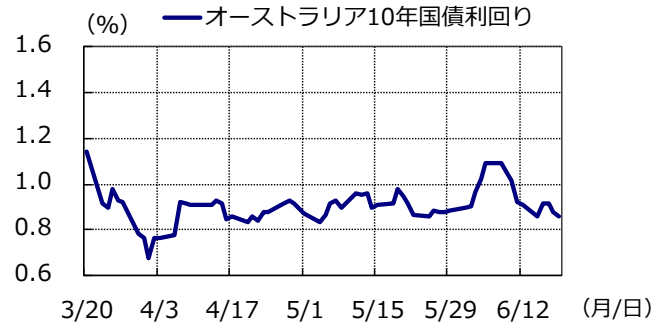


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

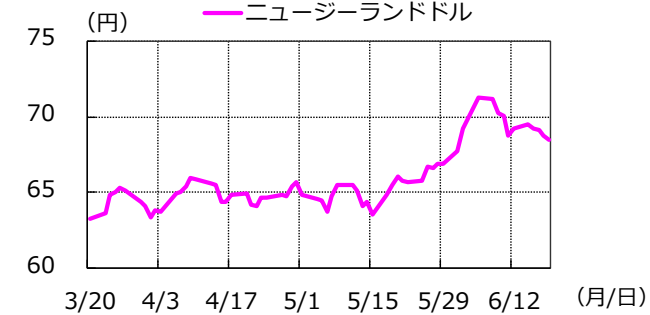
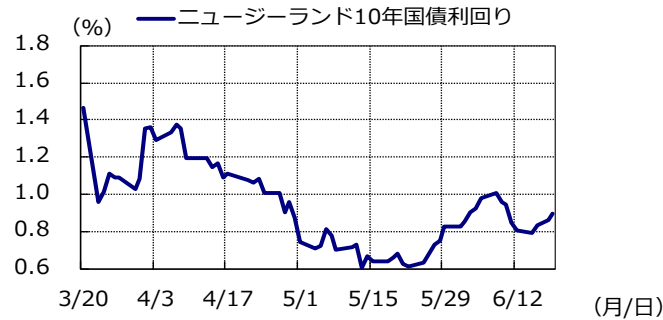
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2020/3/20~2020/6/19

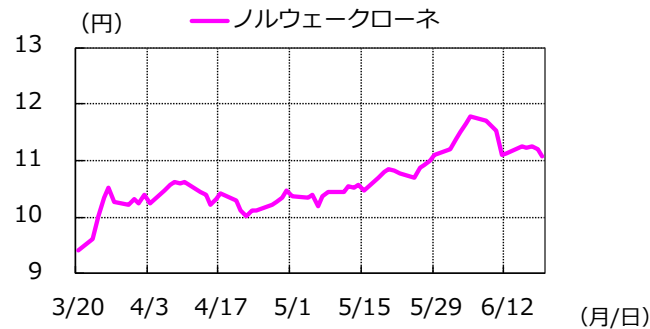
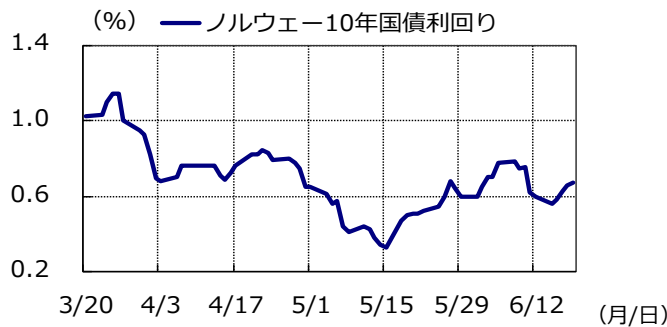
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



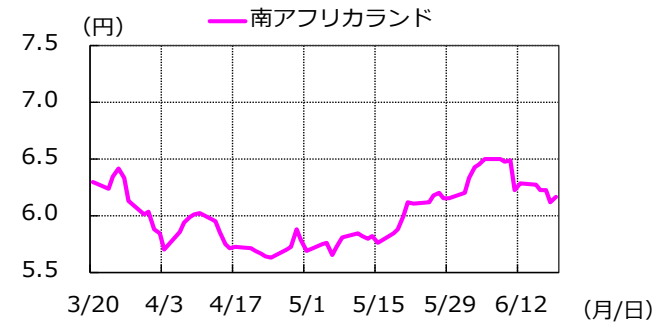
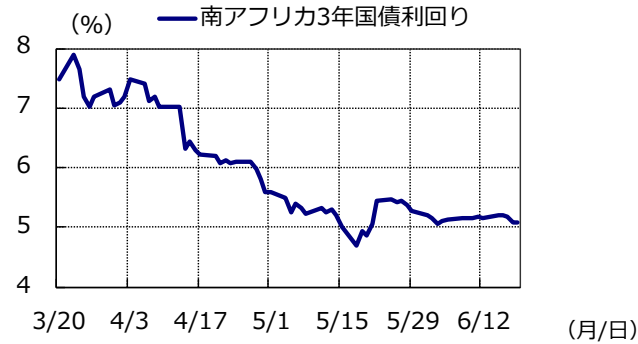
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

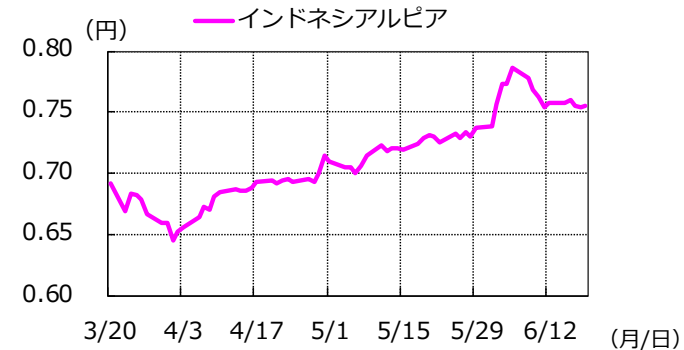
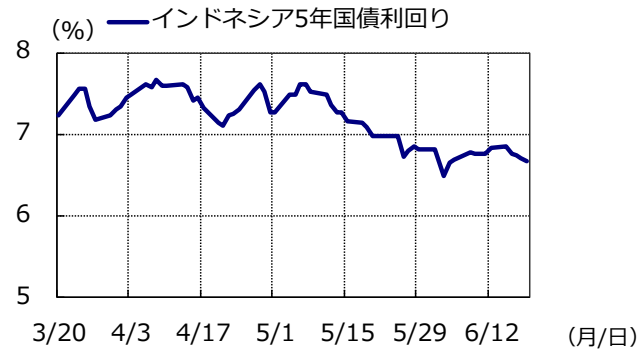


期間：2020/3/20~2020/6/19

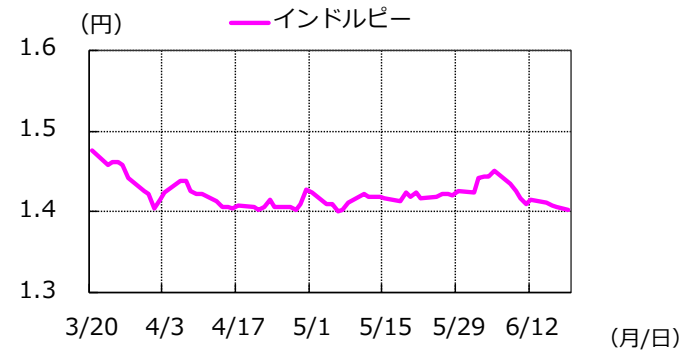
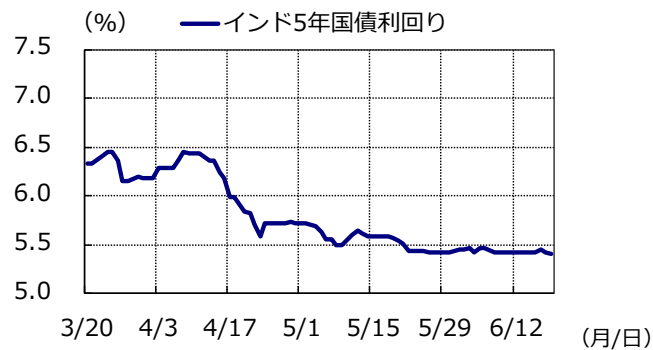
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。